

「心の輪講座2019」を開催しました

岐阜市は、心に潜む「偏見」や「こだわり」をみつめ直し、差別をなくそうと努力する人権学習ボランティア団体「心の輪の会」と共催で、「心の輪講座2019」をみんなの森ぎふメディアコスモスにおいて開催しました。3回の講座にのべ195名の参加がありました。

人権課題を正しく理解し、相手の立場や思いを想像し、思いやりの心をもって接する態度を養いたいものです。市民一人ひとりが積極的に講座や研修会に参加し、自己の人権感覚を高め、人権を尊重するまちづくりが推進されることを願っています。



【第1回 心の輪講座の様子】

～テーマ：心の輪の広がりや深まりを願って～

回	期 日	演題・講師	参加人数
1	11月27日(水) 14時00分～	人権啓発ビデオフォーラム 「障がいを超えて」を見て コーディネーター：心の輪の会会長 市講師団 中村 正信 さん	58名
2	12月 4日(水) 14時00分～	テーマ：子どもにいじめ問題を解決できる力を どうつけるか 講師：岐阜聖徳学園大学非常勤講師 市講師団 小森 保直 さん	71名
3	12月11日(水) 14時00分～	テーマ：セクシュアリティに関する法の最前線 講師：岐阜大学地域科学部 准教授 立石 直子 さん	66名



【第2回 小森 保直さんの講演】

- お話はよくわかった部分が多かった気がします。いじめ問題をどうしたら解決できるのか。私なりに考え、思い悩んでいましたが、少し明るい希望を持つことができました。私たちの年齢でも、私たちの間にあるおしゃべりの中で広げていきたいと思います。(第2回)
- 毎回、新しい内容を知識として得ることができますが、大切なのはこれを地域に持ち帰って「広める」「知らせる」ことだと思います。その方法について人権講座を通して考えていきたいと思いました。(第3回)

参加者の声

○ 障がいへのりこえるのは、障がい者が健常者か。その問いに「ハッ」とさせられました。私は心に壁があると思います。勇気がありません。それを壊し、一歩踏み出す勇気を持ちたい。皆が安心して過ごしていける世の中になるといいなと切に願っています。(第1回)



【第3回 立石 直子さんの講演】